

## 責任教師等指導者 必携（大会時）

（2022年 版）

長野県高野連

### ○事前に

- 使用する用具の点検  
SGマーク、ヘルメット(有効3年、ひび割れ、緩衝材の痛み等)、マスク(有効5年)の日付、バットの規格やゆがみ、捕手用具の破損、グラブのひもの長さ、サングラスなど【高校野球の用具使用制限】を元に確認
- 期限までに野球ねっとにより部員登録、県大会では選手資格証明書作成をしておく。
- 出場球場の球場配置や諸注意を確認する。
- 動静の報告→期日までに出場球場の本部(常務理事)へ  
動静連絡用紙は県連盟HPからダウンロードする。
- 主将、テーピング確認選手にオーダー交換の時間を確認
- 応援リーダー、責任者に応援説明の場所と時間を確認(試合開始50分前)
- ボールボーイにオーダー交換と同じ時刻に説明会があることを確認
- **ボールボーイのヘルメットは自チームのものを使用するよう準備**(コロナ感染症対策)
- 生徒応援団に集合場所、待機場所を指示 球場到着予想時刻を申告→本部へ
- 生徒以外の応援団の動きの掌握 一括入場する場合は準備し、一括入場者の検温時刻と場所を確認 おおよその人数を申告→本部へ
- 感染症等の関連で不測の事態が生じた場合、速やかに所属支部あるいは出場球場担当の事務局・常務理事に連絡してください。
- 補助入場券を使用する学校は、事前に出場球場の大会本部に「見本」と朱書した見本を2枚提出する。
- 第二試合以降の試合開始は決められた時刻より最大30分早めることがあります。
- スタンドで応援する部員も、制服か野球の試合をするときの服装が基本です。(帽子も含めて)

### ○球場に到着したら

- 本部で 到着報告、リボンの受け取り、動静の再確認、各時刻の確認
- コロナ感染症の関係で登録選手を変更する場合、所定の様式でオーダー用紙提出前に本部に報告をしてください。(校長印等が間に合わない場合、一旦提出し、後日校長印等をそろえて再度提出してください。様式は県連盟HPよりダウンロードしてください。)
- リボンを必要な人に渡す
- 球場の役員とともにベンチ入りする人(部長・監督・ノッカー・記録員・選手・ノック補助部員)の検温、健康チェックをし、用紙を役員に提出する。
- 第一試合、試合開始予定時刻の1時間30分前からグラウンドに出られる。  
シートノックまでの時間、ノック補助部員がグラウンドに出られるのはシートノック時のみ、記録員はグラウンドに出られない。
- 第一試合のみトレーニングシューズでトスバッティングができる。サイドノックをすることができる(長野県大会、支部予選会のみ)。スパイクはシートノックから。

- ・(第二試合以降)検温、名簿チェック終了後控え室に荷物の搬入を指示 搬入後控え室から退出させる。(背番号およびリボンのついている者のみ球場内に入れる)
- ・(第二試合以降)ベンチ入り選手待機場所で待機させる。(アップ可)
- ・「次試合部長・監督席」のある球場は利用可  
部長・監督以外は利用できないので注意してください。
- ・オーダー表は遅くともオーダー交換の時刻の10分前に本部に提出。早めに来ていたら、早めに提出していただくと運営が助かります。

#### ○応援の説明

- ・応援リーダーと応援引率責任者を所定の場所に向かわせる(試合開始50分前)

#### ○オーダー交換

- ・第一試合は試合開始40分前、第二・三試合は試合開始1時間10分前、第四試合は第三試合の5回終了時
- ・10分前にはオーダー表を提出する
- ・ボールボーイ、テーピング確認選手を同伴し、使用するのであればサングラスを持参する
- ・終了後、オーダー交換時の注意事項を監督、選手等に伝達する
- ・投手用口ジンを1チーム1個渡します。(コロナ感染防止対策)

#### ○ベンチ入り(第二試合以降)

- ・前試合の7回以降試合中でもブルペンを使用できる。
- ・前試合の終了頃 役員の指示により選手等を先導し入場待機場所で待機する  
試合をするのに必要な道具等を持って(含む・用具点検に必要な物)  
次試合のために待機中、ベンチ裏からベンチやグラウンドをのぞくことは控える。
- ・前試合の消毒が終了したところで入場、用具点検の指示(ノック補助部員中心に、少人数チームは部長、監督、記録員、ノッカーも手伝ってください)。
- ・控え室の荷物をダッグアウト裏側の通路に移動させる。(ノック後目安に、ノック補助部員中心に)
- ・スパイクへの履き替えは球場ごとの指示による。
- ・シートノックまでの時間、ノック補助部員がグラウンドに出られるのはシートノック時のみ、記録員はグラウンドに出られない。また、キャッチボール以外のボールを使う練習はできない。

#### ○試合終了後

- ・役員からインタビュー用紙を受け取り、該当者をインタビュー場所に行かせる。  
(該当者はスパイクを履き替え、マスク・ユニフォーム着用で向かう)
- ・ベンチからの退出を指示 スパイクは履き替える。
- ・噴霧器でベンチ内の座席、机、手すりを中心にアルコール消毒を実施する。
- ・リボンを回収し本部に返却する。早すぎる回収(ノック直後など)は試合終了後ノック補助部員が荷物搬出を手伝えないので注意。  
(ノック補助部員が試合終了後の荷物搬出を手伝う場合は、試合が終わる前にベンチ裏に来ることの無いよう伝えておいてください。試合終了までは球場内に入れません)

- 勝利チームまたは、引き続き試合のあるチームの責任教師は反省事項伝達、次試合の動静確認、投球数確認等のため本部に行く。
- 引き続き試合のあるチームには間に合えば投手の投球数を伝達します。間に合わなければできるだけ早くメールにてお伝えします。動静表でメール用の電話番号かメールアドレスを本部に伝えてください。
- 球場ではクーリングダウンのみにし、できるだけ速やかに帰校してください。(コロナ感染防止対策)
- 試合終了後のセレモニーに類することは球場ではできません。
- 敗戦チームから千羽鶴等の物品を託すことも控えていただくことになっていきます。
- 試合終了後、スタンドで試合を観戦する場合、服装は部員の応援の生徒に準じます。
- その日の最終試合のチームは試合終了後、ベンチ、ベンチ裏通路、ベンチ裏トイレ、ブルペン等の清掃にご協力いただきたい。
- 補助入場券を使用する学校は、試合終了後忘れずに速やかに出札口で精算を行う。

○全体を通して

- 「新型コロナウイルス感染対策に係るガイドライン」等を熟読し、感染防止のための行動をチームに徹底させてください。